2026 年 11 月 17 日



公式キャラクター
はまなか　あい

プレスリリース

福島銀行

「ふくぎん SDGs 宣言書策定支援サービス」による「SDGs 宣言書」策定支援 ～ 有限会社ヨシダアグリファーム様 ～

株式会社福島銀行（取締役社長　鈴木　岳伯（たけのり））は、お客さまの SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）への取組みを支援するため、「ふくぎん SDGs 宣言書策定支援サービス」を取扱いしております。

この度、本サービスを通じて、有限会社ヨシダアグリファーム様が SDGs 宣言書を策定されましたので、お知らせいたします。

今後とも当行は、お客さまの SDGs に係る取組みを支援し、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

会社概要

会　社　名	有限会社ヨシダアグリファーム
代　表　者	代表取締役　吉田　勉
本社所在地	福島県双葉郡葛尾村大字上野川字仲迫 27-11
主　業　種	肉用牛生産業、酪農・乳牛飼育業
企業の特徴	有限会社ヨシダアグリファーム様は、和牛の繁殖・肥育を通じて、高品質な畜産物の生産を展開されています。 和牛生産を通じて安全・安心な食を提供し、持続可能な畜産経営を推進するとともに、福島の復興と地域農業の発展に貢献されています。

以　上



福島銀行は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

本件に関するお問合せ先
営業統括部　営業店サポート課　024-525-2941

報道機関のお問い合わせ先
総合企画部 経営企画課 広報室 山内　TEL 024-525-2973

2026年9月28日

SDGs宣言

有限会社 ヨシダアグリファーム

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、
持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

経営方針　双葉郡葛尾村および田村市を拠点に、肉用牛の繁殖・肥育と酪農事業を展開し、震災からの復興と地域経済の発展に貢献します。

目指す姿　資源循環型農業の実践、環境保全、人材育成、安全・安心な畜産物の提供を推進し、地域とともに持続的に成長する企業を目指してまいります。

持続可能な畜産経営の推進

肉用牛の繁殖・肥育および酪農事業を通じて、安全で高品質な畜産物の安定供給に取り組みます

具体的な取組み

- 繁殖牛、肥育牛、乳牛の飼育による安定的な食料供給
- 自家繁殖体制の強化による生産性向上と持続可能な経営基盤の構築
- 自動搾乳ロボットなど先進設備の活用による省力化と生産効率向上
- 地域ブランド牛の価値向上に貢献



循環型農業と環境保全への貢献

畜産経営で発生する資源を有効活用し、堆肥の製造・販売を通じて循環型農業の推進に取り組みます

具体的な取組み

- 堆肥製造販売事業を通じた資源循環型農業の推進
- 畜産副産物の有効活用による廃棄物削減
- 牧場・牛舎の適正管理による環境負荷低減
- 地域の豊かな自然環境と農地保全への貢献



働きがいのある職場づくり

従業員一人ひとりが安心して長く働ける職場環境の整備に努めます

具体的な取組み

- 安全を最優先とした労働環境の整備
- 畜産技術や飼養管理技術の継承・人材育成
- 機械化・省力化による従業員の負担軽減
- 地域雇用の維持・創出への貢献



地域復興と地域社会への貢献

地域に根ざした畜産経営を通じて、福島県の復興と地域経済の活性化に貢献します

具体的な取組み

- 福島県の復興と地域活性化を支える畜産経営の継続
- 地域企業や関係機関との連携強化
- 地域農業の発展と後継者育成への貢献
- 地域に根ざした企業として地域コミュニティとの共生を推進



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsとは、「持続可能な開発目標」（Sustainable Development Goals）の略称です。「誰一人取り残されない」世界の実現にむけ、2030年までに達成すべき17の目標と、169のターゲットが定められています。